

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	警備装備品の整備			担当部局庁	長官官房		作成責任者	
事業開始年度	不明	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	会計課装備室		装備室長 小山 巖	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	警察法第37条第1項第6号 警察法施行令第2条第6号			関係する計画、 通知等	-			
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	厳しい治安情勢の下、警察活動の基盤となる警察装備品を国が整備し、これを有効に活用することで全国的に一定の水準の警察活動を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	有事即応体制を保持する常設部隊たる機動隊、ハイジャック等重大テロ事案発生時に事態の鎮圧等に当たる特殊部隊(SAT)、生物化学テロ発生時に被害者の救出・救助に当たるNBCテロ対応専門部隊、大規模災害発生時に都道府県警察の枠を超えて被災者の救出・救助に当たる広域緊急援助隊等による警備活動に必要な警備装備品の整備を図る。							
実施方法	直接実施							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求	
		補正予算	1,396	1,621	2,188	437	929	
		前年度から繰越し	0	483	1,698			
		翌年度へ繰越し	3,065	0	472	1,696		
		予備費等	0	▲ 472	▲ 1,696			
		計	0	▲ 110	0			
	執行額	4,461	1,522	2,662	2,133	929		
	執行率 (%)	4,437	1,474	2,452				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	

定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と25～27年度の達成状況・実績					
		治安警備実施は、災害、デモ、抗議活動、国際テロ等天候や社会情勢の変化に応じて対応するもので、事前に予測を立てて、その実施件数等を数値化することや定量的な成果目標を掲げることは困難である。			災害、デモ、抗議活動、国際テロ等天候や社会情勢の変化に応じて対応し、国民の安全・安心を確保する。				
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	災害発生における迅速的確な救助活動を行うことにより、人的被害を必要最小限度に抑える。	救助活動に伴う警察官の延べ出動人員	実績	件	28,940	67,819	24,507	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	右翼運動、国際テロ等各種警備事業に迅速的確に対応し国民の安全・安心を確保する。	治安警備の実施件数	実績	人	11,095	12,071	12,874	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	整備した装備品の種類	活動実績	種類	121	92	105	-		
		当初見込み	種類	110	88	77	40		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	年間執行額(百万円)／年	単位当たりコスト	百万円/年	4,437	1,474	2,452	2,133		
		計算式	百万円/年	4,437/1	1,474/1	2,452/1	2,133/1		
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	物品購入費	437	929	「新しい日本のための優先課題推進枠」252 各種テロ及び大規模災害に関する対策のための資機材の整備強化のため					
	計	437	929						

政策	V.国の公安の維持									
施策	1.重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処									
測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度		
	主要警備対象勢力(注1)に係る犯罪の検挙件数 (注1) 警備犯罪を行い、又は行うおそれのある主要な対象 ※実績値については年間実績であり、目標値については、過去5年の実績平均としている。	実績値	件	1,611	1,602	1,508	-			
		目標値	件	1,722	1,693	1,672	-			
	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度		
	主要警備対象勢力に係る犯罪の検挙人員 ※実績値については年間実績であり、目標値については、過去5年の実績平均としている。	実績値	人	1,682	1,669	1,556	-			
		目標値	人	1,872	1,814	1,762	-			
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
治安警備及び警衛・警護の実施状況(事例)		28	国内外の情勢に応じた警備措置を行い、警備対象の安全を確保する。							
			施策の進捗状況(実績)							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
機動隊、特殊部隊、NBCテロ対応専門部隊等による警備活動に必要な警備装備品を整備することにより、重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処につながる。										
政策	V.国の公安の維持									
施策	3.対日有害活動、国際テロ等の未然防止及びこれら事案への的確な対処									
測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度		
	管区広域緊急援助隊合同警備訓練等での自衛隊等関係機関との合同訓練の回数	実績値	回	7	8	8	-			
		目標値	回	8	8	8	-			
	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
	災害警備活動の実施状況(事例)		28	災害の発生に際し、被害の最小化に向けた災害警備活動を推進する。						
			施策の進捗状況(実績)							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
機動隊、特殊部隊、NBCテロ対応専門部隊、広域緊急援助隊等による警備活動に必要な警備装備品を整備することにより、大規模自然災害等の重大事案への的確な対処につながる。										
政策	I.市民生活の安全と平穩の確保									

施策	1.総合的な犯罪抑止対策の推進								
測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度	
	地域住民の安全を脅かしている犯罪の認知件数(重要犯罪(注)) (注) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ	実績値	件	14,636	13,865	12,326	-	-	
		目標値	件	14,347	14,504	14,371	-	13,908	
	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度	
	地域住民の安全を脅かしている犯罪の認知件数(住宅対象侵入犯罪(注)) (注) 住宅強盗、空き巣、忍込み、居空き及び住居侵入	実績値	件	76,060	65,150	61,786	-	-	
		目標値	件	81,598	87,789	80,360	-	74,017	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
機動隊、特殊部隊、NBCテロ対応専門部隊、広域緊急援助隊等による警備活動に必要な警備装備品を整備することにより、市民生活の安全と平穏を脅かす犯罪の抑止につながる。									
政策	Ⅱ.犯罪捜査の的確な推進								
施策	1.重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上								
測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度	
	各重要犯罪(注1)の検挙率(注2) (注1) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	63.9	70	73.2	-	-	
		目標値	%	64	64.2	65.1	-	67	
	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 28年度	
	重要窃盗犯(注1)の検挙率(注2) (注1) 侵入窃盗、自動車盗、ひったくり及びすり (注2) 右記の数値は、未遂罪及び予備罪を含む。	実績値	%	49.2	50.5	53.6	-	-	
		目標値	%	49.1	49.4	49.1	-	50.2	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
機動隊、特殊部隊、NBCテロ対応専門部隊、広域緊急援助隊等による警備活動に必要な警備装備品を整備することにより、重要犯罪等の犯罪捜査の的確な推進につながる。									
政策	Ⅲ.組織犯罪対策の強化								

施策 2.国際組織犯罪対策の強化

定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
						年度	28年度
来日外国人による共犯事件の刑法犯検挙件数 ※27年度の実績値は暫定値 ※目標値(基準値)は各年の過去5年間の数値に係る回帰直線上の値	実績値	件	5,153	3,312	3,138	-	
	目標値	件(より増加)	-	2,806	2,604	-	2,002
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
						年度	28年度
国際組織犯罪を助長する犯罪インフラ事犯の検挙件数 ※実績値及び目標値は年度値ではなく暦年値 ※犯罪インフラ事犯のうち、不法就労助長、偽装結婚等、旅券・在留カード等偽造及び地下銀行の数値を計上 ※目標値(基準値)は各年の過去5年間の数値に係る回帰直線上の値	実績値	件	697	750	733	-	
	目標値	件(より増加)	-	695	753	-	756
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
						年度	28年度
国際組織犯罪を助長する犯罪インフラ事犯の検挙人員 ※実績値及び目標値は年度値ではなく暦年値 ※犯罪インフラ事犯のうち、不法就労助長、偽装結婚等、旅券・在留カード等偽造及び地下銀行の数値を計上 ※目標値(基準値)は各年の過去5年間の数値に係る回帰直線上の値	実績値	人	992	1,009	1,019	-	
	目標値	人(より増加)	-	949	965	-	1,013
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
						年度	28年度
国外逃亡被疑者等(注1)(うち外国人)の検挙人員(注2) (注1) 日本国内で犯罪を行い、国外に逃亡している者及びそのおそれのある者 (注2) 入国審査で被疑者を発見して検挙した人員及び外国から被疑者の身柄の引渡しを受けて検挙した人員 ※実績値及び目標値は年度値ではなく暦年値 ※目標値(基準値)は、平成25年度の欄は過去5年間の平均値、26～28年度の欄は各年の過去5年間の数値に係る回帰直線上の値	実績値	人	43	36	34	-	
	目標値	人(より増加)	43	39	36	-	33
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
						年度	28年度
国外逃亡被疑者等(うち外国人)の処罰人員(注3) (注3) 逃亡先国において国外犯処罰規定が適用された人員 ※実績値及び目標値は年度値ではなく暦年値 ※目標値(基準値)は、平成25年度の欄は過去5年間の平均値、26～28年度の欄は各年の過去5年間の数値に係る回帰直線上の値	実績値	人	3	8	4	-	
	目標値	人(より増加)	3	3	6	-	7

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

機動隊、特殊部隊、NBCテロ対応専門部隊による警備活動に必要な警備装備品を整備することにより、重要犯罪等の犯罪捜査の的確な推進につながる。

なお、政策評価におけるⅡ-4およびⅢ-1についても本事業は関連する。

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	公共の安全と秩序の維持に当たることは警察の責務であり、その活動の基盤となる警察装備品の整備事業は、国民や社会のニーズを的確に反映したものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	警察法第37条第1項第6号及び警察法施行令第2条第6号に規定される警察装備品の整備に係る経費は、国庫が支弁することになっており、また、中央調達による経済性などの観点から、警察庁が実施すべき事業として適切なものである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	別添の政策を達成するための手段として、本業務は、警察の責務である公共の安全と秩序の維持のための警察活動の基盤となる警察装備品の整備を担っており、必要かつ適切な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一者応札となったものについては、入札参加者を幅広く募るとともに、調達情報を周知させる取組を実施したものの、最終的に一者応札となったものであり、支出先の選定は適切なものである。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国庫で支弁する治安維持活動については、県境を問わない広域的な活動を求められることから、国が負担すべき事業として適切なものである。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	入札により競争性を確保し、コスト削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	執行額全額について、警察装備品の購入のために支出されていることから、真に必要なものに限定されている。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	入札に参加する業者に調達情報を周知する取組を継続して実施している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	治安維持活動に必要な装備品を確保していることから、成果目標に見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	調達物件の仕様の検討を行い物件の有効活用に努めるなど効果的に実施されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	治安維持活動に必要な装備品を整備しており、当初見込み通りの活動実績である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	警察活動に十分に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省・部局名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	警備装備品は、警察庁において一括調達しているので、支出先・使途については把握している。 また、都道府県警察に予算配分しているものについても、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・使途については把握している。		
	改善の方向性	警備装備品は、テロや大規模災害が発生した際の警備活動を行う上で必要不可欠なものであることから、引き続き老朽化した装備品の更新や、治安情勢に応じた充実強化を図る必要がある。また、調達する際には、契約案件の都度、仕様の検討を行うとともに、過去の調達実績や市場の状況等を予定価値に反映させているところである。さらに、競争性、透明性を高めるため、警察庁において一括調達するといった取組を行い、今後も効率的な予算執行に努める。		

外部有識者の所見

各種資機材の整備に当たっては、その必要性に配慮し、競争性を確保の上、効率的な予算執行に努めること。また、整備した資機材の有効活用を図ること。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の
一部改善

自己点検の結果を踏まえ、調達に際しては、仕様の点検、過去の調達実績、市場の状況等を予定価格に反映させるなど、競争性、経済性、透明性を高めるための取組を継続するとともに、配分した予算の執行状況を把握・精査すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行等改善

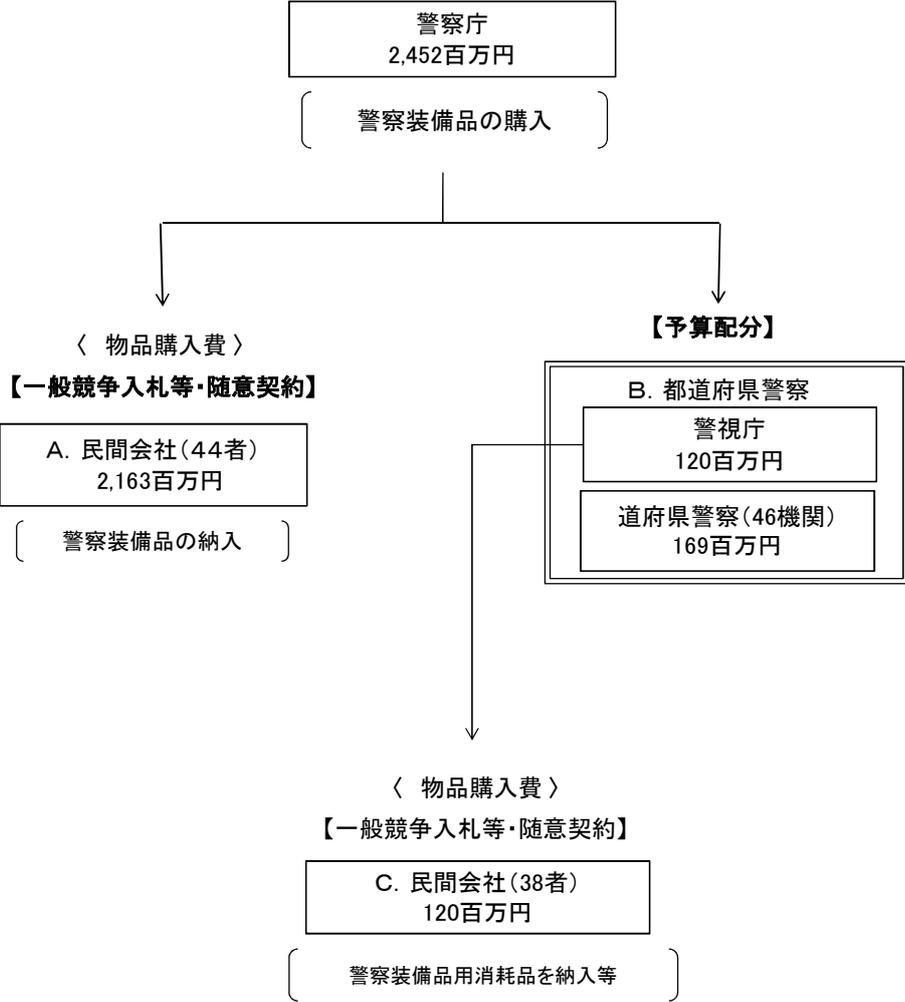
平成29年度予算の概算要求については、各種テロ対策、大規模災害対策等の強化を図ったことから、昨年度に比べて増額となっているが、今後の調達において仕様の見直し等を行い競争性、経済性、透明性を高めて執行額の改善に努める。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	当初13-1、補正8-1	平成23年度	58	平成24年度	43	/
平成25年度	15	平成26年度	16	平成27年度	14	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.櫻護謨(株)			B.警視庁		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品購入費	災害活動用高性能雨衣等	363	予算配分	警備装備品用消耗品の購入等	120
	計		363	計		120
	C.ノーベル工業(株)			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
物品購入費	パイプ柵の買入れ等	12				
計		12	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	櫻護謨(株)	3011001008986	災害活動用高機能雨衣	111	一般競争入札	6	-	
2			高機能ファイバースコープⅡ型	73	一般競争入札	2	-	
3			高機能ファイバースコープⅠ型等(10点)	179	-	-	-	
4	帝国繊維(株)	7010001034840	ガスクロマトグラフ	171	一般競争入札	1	-	
5			生物剤簡易検知器用消耗品	11	一般競争入札	2	-	
6			生物剤捕集器等(4点)	25	-	-	-	
7	帝商(株)	5010001050740	圧縮空気充填装置	45	一般競争入札	1	-	
8			災害活動用ファイバースコープ	35	一般競争入札	3	-	
9			折りたたみスコープ等(4点)	55	-	-	-	
10	(株)三幸	8010001044418	災害活動服 外2点	132	一般競争入札	10	-	
11	(株)トーホーユニ	7010001024668	機動隊員用プロテクタ	111	一般競争入札	8	-	
12	ミスズユニム(株)	6010501013510	出動服	52	一般競争入札	10	-	
13	辰野(株)	1120001077462	防災出動服 外2点	47	一般競争入札	10	-	
14	ミドリ安全(株)	1011001022683	災害活動靴	46	一般競争入札	2	-	
15	新成物産(株)	1010001089519	携帯式金属探知機	26	一般競争入札	2	-	
16			指向性スピーカー	17	一般競争入札	3	-	
17			出刃包丁 外2点等(4点)	2	-	-	-	
18	東洋紡(株)	2120001059666	生化学防護服	37	一般競争入札	1	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	警視庁	8000020130001	予算配分	120				
2	千葉県警察	4000020120006	予算配分	20				
3	愛知県警察	1000020230006	予算配分	19				
4	大阪府警察	4000020270008	予算配分	18				
5	沖縄県警察	1000020470007	予算配分	15				
6	神奈川県警察	1000020140007	予算配分	14				
7	福岡県警察	6000020400009	予算配分	14				
8	京都府警察	2000020260002	予算配分	9				
9	秋田県警察	1000020050008	予算配分	7				
10	北海道警察	7000020010006	予算配分	5				

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ノーベル工業(株)	3010701007950	パイプ柵の買入れ	2	一般競争入札	3	-	
2			ヘルメットインナーの買入れ	2	随意契約 (少額)			
3			伸縮式車両阻止柵塗料セットの買入れ等(8件)	8	-			
4	日本特装(株)	9010001033493	活動靴の買入れ	2	随意契約 (少額)			
5			突入用ツールセットの買入れ	1	随意契約 (少額)			
6			簡易担架外3種の買入れ等(2件)	1	-			
7	日本エアロスペース(株)	5010401053632	試薬カートリッジの買入れ	1	随意契約 (少額)			
8			検索用爆発物検知器修理	1	随意契約 (少額)			
9			検索用爆発物検知器修理等(4件)	2	-			
10	(株)三栄商会	6012701000338	液化窒素の買入れ	2	一般競争入札	2	-	
11			ポンベの再検査	1	随意契約 (少額)			
12			ポンベの再検査等(3件)	0.5	-			
13	(株)寺畑商会	8010601004647	平首輪外27種の買入れ	1	随意契約 (少額)			
14			記録紙の買入れ	0.5	随意契約 (少額)			
15			チェーン荷締機の買入れ等(8件)	2	-			
16	(株)成瀬商店	8010601005521	ドッグフード13品目の買入れ	3	一般競争入札	1	-	
17	(株)イタクラ	5010001145301	活動服Ⅱ型(夏活動服)外1種の買入れ	3	一般競争入札	2	-	
18	美保産業(株)	5010701009482	標的紙2種の買入れ	1	随意契約 (少額)			
19			標的紙外1種の買入れ	1	随意契約 (少額)			
20			修正紙外6種の買入れ	1	随意契約 (少額)			
21	帝商(株)	5010001050740	X線透視装置用画像装置修理	0.3	随意契約 (少額)			
22			作業靴の買入れ	0.3	随意契約 (少額)			
23			圧縮空気充填装置修理等(8件)	2	-			
24	新成物産(株)	1010001089519	耐刃ロープ外3種の買入れ	0.8	随意契約 (少額)			
25			ロープスティック外5種の買入れ	0.8	随意契約 (少額)			
26			ハンド型メガホンの買入れ	0.5	随意契約 (少額)			

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック